

事業番号	02 09 05	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通安全啓発活動事業			担当課	部局	企画部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	生活文化課	
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 2 交通安全対策の推進		E-mail	seibun@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S45 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○県民の交通安全意識の定着を図り、交通事故のない安全で安心な県民生活の実現を目指す。</p> <p>○平成24年までに、交通事故発生件数を11,000件以下、交通事故死者数を100人以下、シートベルト着用率を98%以上とし、高齢交通事故死者数構成率50%以下を実現する。</p> <p>○交通事故の抑止に必要な効果的な啓発活動が展開されている。</p>	
現状	<p>○交通安全対策基本法により県は交通安全施策の策定及びこれの実施について責務を有している。</p> <p>○県民一人ひとりの交通安全知識の普及と意識の高揚を図り、交通事故を減少させるため、各種啓発活動を実施している。</p> <p>○平成24年度までの5か年計画で目標としている交通事故発生件数11,000件以下、シートベルト着用率98%は平成23年中までに達成したが、交通事故死者数100人以下、高齢者死者構成率50%以下については未達成であることから、引き続き高齢者を中心とした交通事故防止対策が必要である。</p>	
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 【左記の説明、根拠法令等】 交通安全対策基本法、長野県交通安全対策会議条例

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<p>○交通事故発生件数11,000件以下、シートベルト着用率98%以上の維持向上</p> <p>○交通事故死者数100人以下、高齢者死者構成率50%以下の達成</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
				H24	H25	
	項目	実施方法	H24事業実績	(当初)	(決算)	(当初)
	1.交通安全運動推進本部啓発活動事業	直接	・季別交通安全運動要綱、チラシの印刷等 ・ダンプカー協会補助金(補助対象経費の1/2以内)	1,457	1,334	1,537
	2.交通安全運動地方部啓発活動事業	直接	・地域別重点啓発活動事業	800	723	800
			合計	2,257	2,057	2,337

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	3,841	2,186	2,257	2,337
	補正予算	0	0	0	0
	合計(A)	3,841	2,186	2,257	2,337
	Aの財源				
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	3,841	2,186	2,257	2,337
決算額(B)	3,595	2,151	2,057		
概算職員数(人)	3.85	3.85	3.85	3.85	
概算人件費	32,020	31,793	31,793	31,793	
概算事業費(B(A)+C)	35,615	33,944	33,850	34,130	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
交通事故発生件数	10,568	11,000件以下	10,403	達成	-
シートベルト着用率	99.2	98%以上	98.9	達成	-
交通事故死者数	115	100人以下	97	達成	-
高齢者死者構成率	53.9	50%以下	45.4	達成	-
交通事故死傷者数	-	-	-	-	12,100人以下

目標に対する成果の状況	交通事故死者数については、昭和31年以来56年ぶりに100人を下回るなど、長野県中期総合計画での目標を全て達成することができた。前年と比べ、高齢者の死者が18人と大きく減少したことが大きく、県警、市町村、その他関係機関・団体などと高齢者に対する注意喚起・啓発活動の一定の成果がでたものと認識している。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>○交通事故死者数に占める高齢者の割合は半分近くと依然高い割合を占めているほか、通学路の安全対策など子どもの事故対策も求められており、引き続き県民の交通安全意識の向上に取り組む必要がある。</p> <p>○季別の交通安全運動の啓発チラシの内容や地域別に行う啓発活動の内容を効果のあるものとするよう随時見直しをしていく必要がある。</p>